

仙台新港支援報告書

2012年12月20日

作成：東北ヘルプ事務局

東北ヘルプは、米国 CGMB・日本国先飢餓対策機構・亙理聖書キリスト教会との協力を得て、2012年8月～11月にかけて、下記の事業を行いましたのでご報告いたします。

- a. 9月11日、東北ヘルプは若林区内東通仮設住宅に住む漁師8名との懇談を行った。現在当該の漁師達は赤貝漁を行っている。漁のための待機所となる建物は流されたままになっているために、屋外で作業を行う他なかった。従って、今後、冬に向けて作業が困難になってくることが懸念されていた。
- b. 11月17日、CGMBからの支援費30万円に日本国際飢餓対策機構からの支援金を合わせ、コンテナハウスを購入し、亙理聖書キリスト教会からのボランティア・チームによって、コンテナハウスが漁港に設置された。



- c. 12月3日、待機所に設置するパイプ椅子を、日本国際飢餓対策機構からの支援金によって購入し、亙理聖書キリスト教会からのボランティア・チームによってコンテナハウス内に搬入された。



- d. 担当した熊田宏之・亙理聖書キリスト教会牧師の報告：

「電気もすぐに引っ張るそうです 皆で暖を取りながら集まれるところが出来たようです。とても喜んでいました。キリストの大使として皆さんと関わることができる特権を感謝しています。」